

会 議 録

1 会議名

平成28年度第4回保倉区地域協議会

2 議題

【協議事項】

- ・平成28年度地域活動支援事業について（公開）
 - ①提案者による提案説明、質疑応答（事業費20万円以上の事業）
 - ②委員協議・採決
- ・自主的審議事項取扱い協議（公開）
 - ①提案者による趣旨説明
 - ②審議歌碑の判断（協議・採決）

3 開催日時

平成28年8月23日（火）午後6時00分から午後7時10分

4 開催場所

上越市立保倉地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 宮川和市（会長）、吉川善一（副会長）、池田つえ子、大堀幸子、
佐野和明、中島厚、早津輝雄、松林剛、丸山隆夫、山岸功、吉田一枝、
渡邊良禎
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主事

8 発言の内容

【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【宮川会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：丸山委員、山岸委員に依頼

議題【協議事項】平成28年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【星野主事】

- ・資料No.1に基づき説明

【宮川会長】

では、これから20万円以上の事業について、提案団体から補足説明を行ってもらおう。

「No.1 保倉地区防災テント整備事業」について、ヒアリングを行う。

— 提案事業の担当者が宮川会長のため、宮川会長が補足説明 —

「No.1 保倉地区防災テント整備事業」について、質問等はあるか。

【中島委員】

貸し出しは自由だということだが、今後、各町内に配布する予定はあるのか。

【宮川会長】

テントについては、今後、要望があれば購入することは^{やぶさ}吝かではないが、昨年、指定緊急避難所の関係で保倉地区南部に2張、かみよしのこどもの家に1張配備した。イベントで使う際は、各町内で調整しながら使っていただきたい。

他に質問等がないため、ヒアリングを終了する。続いて、委員協議及び採択審議に入る。

「No.1 保倉地区防災テント整備事業」について、意見等はあるか。

意見等がないので、採決に入る。

「No.1 保倉地区防災テント整備事業」について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.2 保倉地区安全・安心な地域づくり事業(2)」についてだが、1次募集で事業を採択し、防災ラジオを90台購入された。各町内の班長に配布したが、町内会長用に17台を追加で購入したいと考え、提案されたとのことである。

この件について、意見等はあるか。

【吉川副会長】

1次募集で購入した防災ラジオは、確認していただいたか。

— 各町内の状況について、それぞれの委員が報告 —

【宮川会長】

他に意見等がないので、「No.2 保倉地区安全・安心な地域づくり事業(2)」について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

採択とする。

次に「No.3 保倉地区スポーツ振興事業」について、保倉区ではこれまで聖火台を八千浦中学校から借りて使用していたが、物がかなり大きく、軽トラックにも乗らず、毎回苦勞しているため、「保倉区にも聖火台があったほうがいい」という思いから、今回の提案に至ったとのことである。

10月14日(金)に保倉小学校でマラソン大会があり、そこでも使わせていただきたいと考えている。

この提案について、意見等はあるか。

【中島委員】

燃料は、何を使うのか。

【宮川会長】

イベント等の間、常時点けずに、最初と最後に油で燃やそうと考えている。

【山岸委員】

八千浦中学校から借りてきたものは、プロパンガスで燃やしていた。だが、今回、同じようなものを作るとなると、費用が掛かってしまうので、固定燃料や油を入れて、一時的に燃えるものにしようということになった。

八千浦中学校の聖火台は大きめで、高さもあるが、今回作るものは、小学生でも手が届くような、小さめのものにする予定である。

10月14日(金)にマラソン大会があるので、その時にお披露目予定である。

【宮川会長】

「No.3 保倉地区スポーツ振興事業」について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.4 保倉地区『子どものびのび育成』事業」についてだが、保倉小学校1年生が「やぎ」を飼っている。それに使う清掃道具や、餌などを格納している倉庫が何十年も使用する中で、雨漏りし始めたため、更新したいということである。

これについて、意見等はあるか。

【渡邊委員】

「動物を飼う」ということは、上越市内のどこの小学校でも実施している。これは、市の教育委員会が「総合学習」という文部科学省のカリキュラムに基づいてやっているのだから、教育委員会が、支援をするべきだと思う。市の「教育費」としてやるべきものだということが、行政上、大事なことだと思っている。だが、保倉小学校の事情を聞き、学校後援会が子どものために実施するとなれば反対はしない。但し、管理も含めて実施主体の区別は、しっかりつけていただきたい。

【宮川会長】

教育委員会の考え方も、今後変わるかもしれないが、渡邊委員が言っていることは正論だと思うし、教育委員会に対して、保倉区地域協議会では、「こういう意見が出た」ということは、事務局から、何かの機会に伝えていただきたい。

「No.4 保倉地区『子どものびのび育成』事業」について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

以上で、採択審議を終了とする。

残額については、3次募集を行わないことを委員から確認を取る。

次に、自主的審議事項取扱い協議について、事務局へ説明を求める。

【星野主事】

早津委員から自主的審議事項についての提案があった。まず、提案者である早津委員より提案の趣旨及び自主的審議を行う到達目標について説明をしていただき、委員の皆さんから、この案件を保倉区の自主的審議事項とするかどうかを協議いただき、その後、最終的に挙手にて採決していただきたい。

採用された場合、本格的な協議は次回以降の協議会からお願いしたいと考えている。

【宮川会長】

では、早津委員からの説明を求める。

【早津委員】

・『保倉小学校及び保倉保育園の周辺に「防犯カメラ」の設置、『保倉地内主要道路に「防犯カメラ」の設置』について説明

昨年か、一昨年、この種の提案をしたところ、「前例がない」ということで、俎上には上がらなかった。

さて、自主的審議事項に係る提案については、警察に協力するためのものではなく、地域防犯の抑止力の為に、今回、提案させていただいた。この件について、いろいろな意見を出していただくことが必要だと思っている。

2、3日前に教育委員会に状況を確認したが、「児童への声掛けや写真撮りが昨年は26件。一昨年は37件」あったとのこと。その際、「児童の手を掴んで、連れて行こうとした」という悪質な事案が何件かあったと聞いている。「37件」という数字を“多い”と見るか“少ない”と見るかはそれぞれで違うと思うが、私個人では、“多い”と見ている。月に3件くらいあると思っていいと思う。件数が減ってきているが、児童の数も減ってきており、なおかつ、凶悪化している。これは、大変好ましくない実態があると思っている。

【宮川会長】

私も現状のままではよくないと思っている。

保倉区地域協議会として、どのように取り扱っていくかを相談したいと思っているが、皆さんはどうか。

【渡邊委員】

早津委員の提案については、御尤もだと思っているし、むしろ機を逸している、遅きに失していると思える。

声を挙げていかないと、何時まで経ってもできないので、積極的に働き掛けて行き、全面的に取り上げるべきだと私は考えている。

「都市再生計画」のようなものが立法化され、各都道府県で取組が活発化している。以前の新聞で、新潟市が積極的に、その対策に入ったと大きく新聞に載っていた。「田園集落は、積極的に区画整理したところに移ってほしい」という記事になっていた。中心部は再開発を推進し、田園集落は移住を促進する。新潟市が積極的に先鞭を切っており、全国で300の自治体が検討している。

新潟県では、15の市町村がこれに取り組んでいると記されていたが、それを考える

と、保倉区のインフラ整備は遅れていると思う。

下門前地区で第一次整備計画が終了したとのこと。今度は、3万坪の市の土地を西部地区に設定し、そこを積極的に住宅地として形成していくということが新聞に載っていたが、田園集落に社会インフラ整備の資金を掛ける必要がないのではないか、というような根本的な流れがあるのではないかと懸念している。

今、保倉区定住化対策をしているが、市街化調整区域における土地利用規制の適性化の条件として、「共同住宅は駄目」、「個の住宅はいいが、アパートは造るな」というようなことが入っている。それから、基幹インフラ整備は駄目だということも明記している。それに則って、保倉区で定住者をどう増やすかという話をしている。保倉区は立派な田園地帯だと支持されている。早津委員が出されたような提案から、積極的に前へ進めて行く必要があると思っている。

第6次総合計画については昨年度、地域協議会で諮られた。第6次総合計画の原案が出された時に概ね賛成ということで、保倉区地域協議会は回答したが、「インフラ整備をどうするのか、切り捨ては止めて欲しいという附帯意見を盛り込んだ上で、第6次総合計画を当地区としては認めざるを得ない」という発言をしたことを覚えている。

早津委員が提案している防犯カメラもそうだが、保倉区としては、大きな問題を抱えながら進んでいるということを認識しながら、保倉区のあり方、生活のあり方、そういうものについて、検討していく必要があると考えている。

それから、市に関係なく、農地についてだが、JAの農地に50ヘクタールの単位で農薬・肥料を韓国から約20t仕入れ、3割から7割の資材安で仕入れている。何故か、保倉区や北諏訪区等をターゲットにしている。

いろいろな面で社会が激動しているということを認識しなければならない。

また、皆さん御存じだと思うが、『上越市の都市計画区域のあり方に関する提言』ということで、5人の有識者から平成25年5月に提言書が出ている。これには、「上越市の都市計画は立派である。ただし、国道253号線と新井・柿崎線、その他に田園地帯を持っているが、この辺に中核的な住宅を造り、人が住める地域として設定する必要があるのではないか」と書いてある。そのことについて、一向に保倉区に情報が入ってこない。保倉区には市議会議員がいない。ますます窓口がなくなり、情報が入ってこない。我々が知らない間に新しい施策が進んできている。

そうした中で早津委員の提案は、的を射た提案であると思っている。

【宮川会長】

他に何か意見はあるか。

【山岸委員】

民生委員の関係になるが、直江津東中学校区で帰宅途中、生徒が不審者に声を掛けられたり、写真を撮られたという事例があるが、学校であった場合は、すぐに父兄に連絡が行き、駐在所へ連絡が行く。その事例は、夕方、上千原地内で女子中学生2人が声を掛けられた。その際、生徒たちは自転車に乗っていたというのだが、自転車を止めずに逃げ、近くの家に入り、110番したとのこと。その生徒は、保倉区の生徒ではないかと思っているが、詳細までは伝わっていない。

いろいろな事件が発生しているという話題が、民生委員の会議でも出ており、常習犯を捕まえるには、遭ってから追いかけたのでは逃げてしまうため、通学路の主要道路に防犯カメラを「事故防止」という意味で設置してはどうかという話が出ている。福祉課では、そういう話も聞いている。だから、防犯カメラの設置については、賛成である。子どもを守るためにも良いと思う。

【宮川会長】

早津委員が教育委員会に話を持ちかけた時に、取り上げてもらえなかったということだが、上越市としては、検討する余地はないのか。

【早津委員】

教育委員会との話では、「設置を検討する」という感じはなかった。学校と保育園は無理だとしても、保倉区で言えば、新井・柿崎線に1、2か所、国道253号線、上越・大潟線に月に1回警察が来ており、聞いた話だと、例えば今日、事件があったとすると、今日から1週間くらいの期間で主要道路の映像を調べて、全部解析し、ナンバーを調べ、周辺の聞き込みをし、一つひとつ解明していく。防犯カメラを設置し、警察の事件解明の材料として使っていただくのもいいが、何よりも、防犯カメラがあれば、抑止力になる。

私の家では、7月下旬に防犯カメラを3台買い、設置した。それは、相当長い時間録画でき、音声と映像が同時に撮れ、赤外線カメラも搭載されているので、夜間も撮影できる。

【宮川会長】

保倉区の駐在所として、何か対策を考えているのかを聞くため、話し合いの調整をし

ている。

駐在所の方と、今日の意見も含めながら、話し合いをしてみたいと思っている。

早津委員の提案に対し、皆さんに自主的審議事項として取り上げるかどうかの結論を出していただき、採用となれば、時間はかかると思うが、今後の進め方について話し合っていきたいと思う。市に対し、課題として意見書を提出するのも一つの手だと思っているが、別の方法で保倉区として防犯カメラを導入する方向で検討を進めるべきかと思う。

他に意見等はあるか。

【吉川副会長】

早津委員が分かったら教えていただきたいのだが、他の市や県での防犯カメラの設置率がどれくらい分かるか。

【早津委員】

それは分からない。提案書に大阪府池田市の事案が書いてあるが、それしか調べていない。

【星野主事】

上越市内の防犯カメラについて調べたが、市としては通学路や主要道路について設置していないということだった。

【宮川会長】

上越市内に防犯カメラはあるのか。

【星野主事】

上越妙高駅や図書館等の敷地内には設置しているとのこと。

【早津委員】

提案者からの希望だが、すぐに結論を出すのではなく、継続審議として積み重ねていきながら進めていただきたい。

【宮川会長】

私も同じことを考えていた。今日、結論を出す必要はないと思っている。審議を継続しながら、この件について、皆さんで考えていきたい。それには、うまく進められる方法を、お互いで模索し合うということによろしいか。

【早津委員】

それでお願いしたい。市との緩やかな協議の中で、今までは前例がないので断られた

けど、「他市がやっていなくとも、上越市はやる」という自主性がなければ困る。市も前向きに理解してくれたら、保倉地区を上越市のモデルケースとしてやってみようというところまで行けば良いと思っている。

【宮川会長】

設置したいという方向で、皆さんから知恵を絞っていただきたい。

設置に関して、ランニングコストはどうなるのかを調べておかないといけないと思う。設置は、地域活動支援事業で設置できるかもしれないが、いつまでも補助制度があるか分からないので、今後のメンテナンスや電気料も調べていきたい。

【早津委員】

- ・工事費等の目安を説明

【渡邊委員】

いずれにしても、地域活動支援事業で設置するのは難しいと思う。保倉区だけではないと思うので、警察署や公安委員会に働き掛けをしていけばいいのではないかな。

【宮川会長】

少し時間が必要だと思っている。お互いがそういう意識を持ちながら、保倉区の主要道路に付けたいと思う。

学校に付けるとなると、教育委員会が関係してくると思うので、公道に設置したいということにすればいいと思う。その辺も一つずつ各自で勉強していただき、提案に対して前向きに検討したいと思うが、それでよろしいか。

(異議なし)

では、当提案について、自主的審議事項として取り上げるのではなく、継続して話し合っていくという取扱いにしたいと思う。次回以降の協議会で、何か新しい情報があれば出していただき、少しでも進められるようにしたい。委員それぞれ、導入に向けての知恵を絞ったり、他から知恵をもらったりする努力をしていただければよいと思います。

では、この件について終了とする。

【星野主事】

必要な資料については、可能な範囲用意させていただくので、申し出ていただきたい。

【宮川会長】

「その他」について、何かあるか。

【星野主事】

前回の会議資料で「保倉区の年齢別・行政区別男女人口」に誤りがあったが、修正したものを本日配布させていただいた。改めて説明させていただく。

- ・資料「保倉区の年齢別・行政区別男女人口」に基づき、改めて説明
続いて、次回の協議会について説明させていただく。

次回協議会は、今回、審議していただいた内容をまとめさせていただき、今後、どのように審議していくかを協議していただきたい。

また、委員研修についても、事務局案を示させていただく。

開催時期は、9月下旬から10月上旬を考えており、日程については、会長と相談の上、皆さんへ報告させていただきたい。

【宮川会長】

では、そのようにお願いしたい。

防犯カメラの設置については、委員全員に「宿題」ということで、何か設置に向けた情報があれば掴んでいただきたい。

【吉川副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。